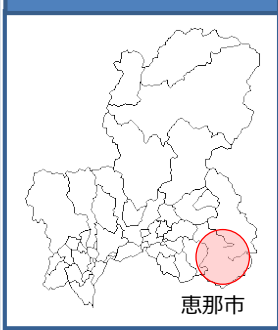


- 「日本の棚田百選」に認定された「坂折棚田」をはじめ豊かな自然と暮らしがあり、その価値を持続するためにNPO法人恵那市坂折棚田保存会が中心となり、農泊事業を展開。
- 同NPO法人を主体として、棚田を活用した様々な体験プログラムに加え、地域の宿泊施設の開設や食の磨き上げを行っており、旅行会社等と連携しながら受入体制を整備している。

【地域の概要】

岐阜県恵那市

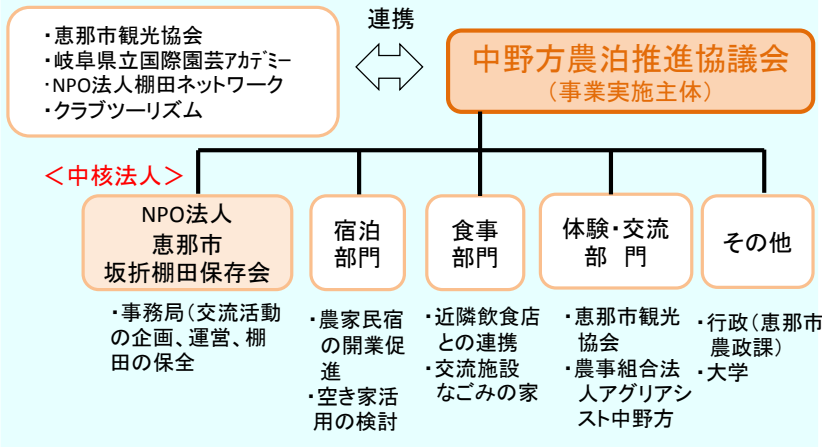


恵那市

＜地域の特徴＞

- 平成11年に農林水産省の「日本の棚田百選」に選定された豊かな農村文化の残る地域。
- 地域の人口は1,575人（平成30年12月1日時点）、高齢化率41%の中山間地域で、558世帯のうち、約4割が農家（230戸）。
- 名古屋市内から車で約1時間20分の郊外に位置し、利便性が高い。

【実施体制】



＜中核法人＞

- 平成11年に農林水産省の「日本の棚田百選」に選定されたことを契機に、平成15年に地元で有志の会が発足、平成20年にNPO法人恵那市坂折棚田保存会が組織化。
- 平成28年の地域の将来像アンケートで、空き家の多数発生が判明。交流人口を増やし移住定住促進が大きな課題となった。平成29年の地域の意向調査では、農泊推進の同意形成が促された。

＜運営体制＞

- NPO法人恵那市坂折棚田保存会が中核法人。宿泊は地域住民が開業する農林漁業体験民宿（4軒）、体験メニューは同法人が窓口となり、棚田ガイドツアーや棚田オーナーなどを企画・運営。



棚田オーナー制度

【取組内容】

＜棚田を活用した体験プログラム＞

- 坂折棚田固有の石積みやオーナー制度等の体験プログラムにより棚田を保全し、交流人口を増やししながら地域の維持を図る。
  - ・棚田オーナー（5月～10月）
  - ・棚田ガイドウォーク（4～11月）
  - ・野菜収穫体験（4～11月）
  - ・田の神様灯祭り（6月）
  - ・独自の石積みを学ぶ石積み塾（10月）
  - ・炭焼き体験（冬期）



（上）棚田ガイドウォーク  
 （下）石積み塾

＜食事＞

- 交流施設「なごみの家」内「さかおりお茶番処」や農事組合法人「なかのほう不動滝やさいの会」での地元米や野菜をふんだんに使った食事（朴葉すし定食等）の提供
- 料理研究家のアドバイスで地元の食材（米、粟）を活用した食事メニューの磨き上げを図っている。



朴葉すし定食

＜宿泊＞

- これまで宿泊施設のなかった同地域に農林漁業体験民宿を4軒開設。
- 今後1軒の開設を予定しているほか、民宿開業に興味のある住民に対して、先行した民宿から開業方法を講義するなど協議会がサポート。



農林漁業体験民宿